



県内食品・ウェルネス関連産業の振興と
県民の健康寿命の延伸を目指す

静岡ウェルネス プロジェクト



静岡県では、令和7年度より
「静岡ウェルネスプロジェクト」を新たにスタートしました。
フードテック等を活用した未来型食品の開発や
ウェルネス産業の創出を支援し、
食品・ウェルネス産業の発展と更なる健康寿命延伸を図り、
県民の幸福度日本一を目指します。

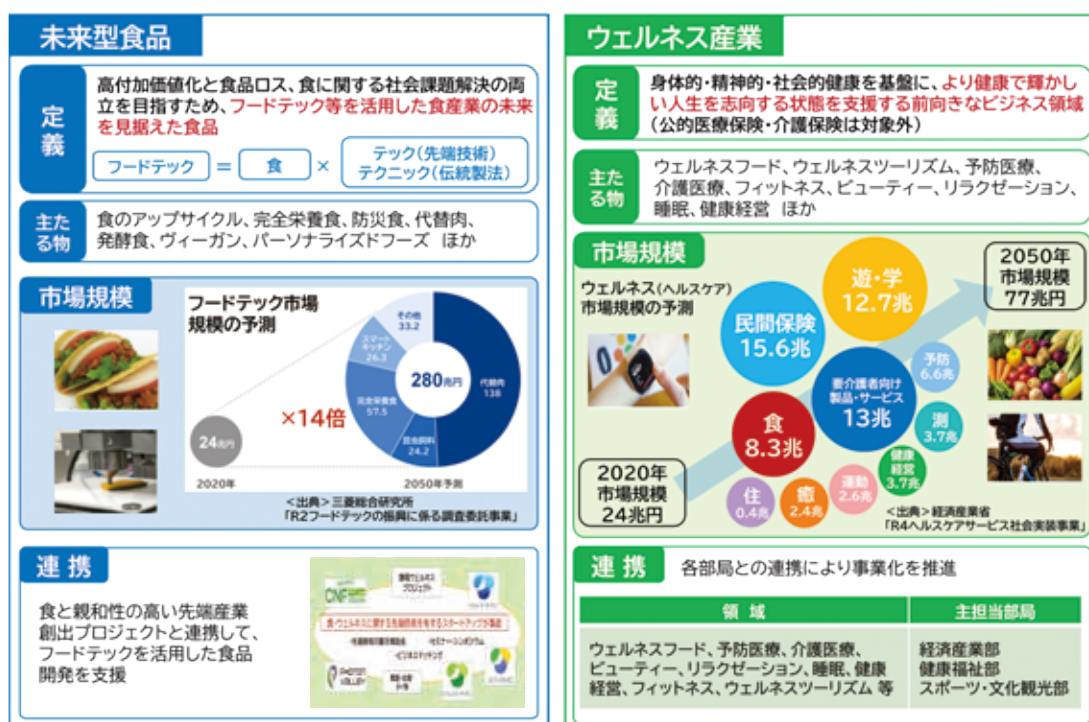
第一期 静岡ウェルネスプロジェクト

静岡県では、フードテック等を活用した未来型食品の開発やウェルネス産業の創出を支援し、食品・ウェルネス産業の発展と更なる健康寿命延伸を図る新プロジェクト「静岡ウェルネスプロジェクト」(令和7～10年度)を立ち上げ、県民の幸福度日本一を目指します。

▶ 静岡ウェルネスプロジェクトの概要



▶ 未来型食品とウェルネス産業の定義



▶コーディネーターによる相談と支援

食品・ウェルネスの分野に精通したコーディネーターを設置し、製品開発から販路開拓にわたる支援及びマッチング支援を行っています。

未来型食品関連



アップサイクル製品開発の相談、機能性表示食品の相談から届出、未来型食品関連助成事業の有効活用の支援等を行います。

ウェルネスビジネス関連



健康の保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸に資するウェルネスビジネスの事業化や関連助成事業の有効活用の支援等を行います。

販路開拓



プロジェクト成果品の販路開拓や展示会出展の案内など、販売までの支援を行います。

▶静岡ウェルネスプロジェクトの成果指標・活動指標

区 分	指 標		現状値	目標値
成果指標	健康寿命（健康寿命と平均寿命の差）		男性+0.4歳 女性+0.35歳 (R1とR4比較)	平均寿命を上回る 健康寿命の延び
	プロジェクトの事業化・販路開拓等支援による 製品・サービスの総売上金額		23億7,500万円 (R2～R5累計)	30億円 (R7～R10累計)
活動指標	産業振興	産学官連携・次世代産業プロジェクト間 連携等による試作品件数	72.0件／年 (R3～R6見込み平均)	80件／年
		フードテック活用や市町の健康課題 解決等に資する事業化件数	64.0件／年 (R3～R6見込み平均)	70件／年
		静岡ウェルネスフォーラム会員数	1,795社 (R6.12月時点)	2,400社 (R10)
		展示商談会等による商談件数	965件／年 (R4・R5平均)	1,000件／年
		未来型食品の開発、新たなウェルネス サービスの創出に資する人材育成件数	91人／年 (R2～R5平均)	100人／年
	健康寿命の 延伸	脳卒中による年齢調整死亡率 (人／人口10万人)	(男性)110.5 (女性)68.9 (R5)	(男性)101.4 (女性)58.4
		高血圧症有病者の割合	(男性)41.9% (女性)30.8% (R3)	(男性)38.1% (女性)28.3%
		特定健診受診率	59.2% (R4)	70.0%以上
		ふじのくに健康づくり推進事業所数	6,839事業所 (R4)	10,700事業所
		ヘルシーメニューの提供を行っている 特定給食施設の割合	78.1% (R4)	79.4%

未来型食品創出支援

高付加価値と食の社会課題解決の両立を目指すため、フードテックを活用した未来型食品の開発、企業の販路開拓、産業を担う人材育成などを行っています。

▶ 未来型食品事業化促進支援

フードテック等の先端技術を活用し、食品ロス等の社会課題解決にも寄与する新しい食品開発や商品の事業化に向けた取組を行う中小企業者等を支援します。

▶ ウェルネスプロジェクト創造研究会(フードテック)

食品関連企業等で構成する「ウェルネスプロジェクト創造研究会」を立ち上げ、企業同士の連携を基盤に、フードテック等の先端技術を活用した未来型食品の新商品開発を目指します。



未利用食材を使用した
アップサイクル製品
(過去助成金成果)



食のアップサイクル相談窓口

▶ 展示会等への出展支援

プロジェクトで生まれた製品や県内企業の特徴ある優れた製品の販路開拓を進めるため、首都圏や県内で行われる展示会や商談会への出展を市町と連携して支援します。



展示会等への出展支援



食品バイヤーとの商談会

▶ 未来型食品創出教育プログラム(総合食品学講座)

安全・安心な食品製造と国際競争力のある商品を開発する人材育成を目的として、食品原料から消費者対応まで、企業が必要とする知識を講義・実習・グループワークを通じて総合的に学びます。また、食の課題解決と製品の高付加価値化の両立を可能とするフードテックの要素も学び、食品産業の未来を見据えた新たな食品開発の創出に資する人材育成も支援します。



総合食品学講座 グループワーク

▶ 科学的根拠に基づく製品開発

食品の機能性表示制度に対応するため、静岡県立大学等と連携し科学的根拠を立証するヒト試験やシステマティックレビューを実施する体制を構築しています。

ウェルネス関連産業支援

身体的・精神的・社会的に満たされ、より豊かで充実した人生を送ることが出来るように、健康寿命の延伸などにつながるウェルネスサービスや製品の事業化を支援しています。

▶ 静岡ウェルネスフォーラムの運営

産学官金のネットワーク構築と、交流・ディスカッションを通じたオープンイノベーションを促進するためフォーラム・セミナーを開催します。

また、異業種分野から食品、ウェルネス産業分野を目指す地域企業や新たなアイデア、技術を持つスタートアップ等の参入を支援します。



ウェルネスフォーラム

▶ ウェルネスプロジェクト創造研究会(ウェルネス)

ウェルネスビジネスの事業化可能性を高めるため、特定テーマに沿った研究会開発や異業間のネットワーク構築、ビジネスマッチング等を促進する研究会を運営します。

研究会を通して、新規事業創出や既存事業の新たな展開の可能性を模索し、社会実装にむけて支援します。



ワークショップ(過年度実施)

▶ ウェルネスビジネスの事業化促進支援

ウェルネスビジネス※の創出を促進するため、ウェルネスサービスや商品の事業化に向けた取組を行う中小企業者等に対して事業化可能性調査・実証等の実施を支援します。

※(「ウェルネスビジネス」とは、身体・精神・社会面での健康の保持及び増進を通じた健康寿命の延伸に資する製品の生産若しくは販売又は役務の提供であって、以下のいずれかのものをいいます。)

- 健康の維持・増進に資する食品を活用するサービス
- 自然・温泉等の観光資源を活用する製品・サービス
- 技術を活用した健康の維持・増進に資する製品・サービス
- 健康経営推進に資する製品・サービス
- 運動を核とする製品・サービス
- 他、当プロジェクトに資すると判断される製品・サービス



低温技術を用いた血流促進製品
(過去助成金成果)

▶ ウェルネス・フーズEXPOの開催

ウェルネスおよび食品分野に関する県内外の先端技術を集めた展示会を実施し、スタートアップと地域企業等とのマッチングを推進します。



ウェルネス・フーズEXPO

▶ 静岡ウェルネスプロジェクトの助成制度

① 未来型食品等開発助成金

対象事業 食品・化成品（食品素材を使用した場合のみ）において、フードテック等の先端技術を活用し、食品ロスや環境負荷等の食に関する社会課題解決に寄与するものや、機能性（栄養、感覚、健康維持）の向上に向けた試作品開発・実証試験を行う事業

助成率 対象経費の1/2以内

助成限度額 1年間の場合、2年計画の場合、ともに200万円以内

② 県産加工食品海外展開支援事業助成金

対象事業 県産加工食品の海外向け商品開発及び販路開拓・拡大を目的とした、海外で開催される展示会等への出展や具体的な販路開拓・拡大を行う事業

助成率 対象経費の1/2以内

助成限度額 1年間で150万円以内

③ フードテックシーズ活用可能性調査助成金

対象事業 大学等が持つフードテックのシーズを活用し、事業化に向けた可能性調査を行う事業（シーズ探索を含む）

助成率 対象経費の2/3以内

助成限度額 1年間で100万円以内

④ ウェルネスビジネス事業化促進事業助成金

対象事業 新たなウェルネスサービスや製品の事業化のために行う可能性調査又は実証

助成率 （可能性調査）対象経費の2/3以内 （実証）対象経費の1/2以内

助成限度額 （可能性調査）1年間で100万円以内
（実証）1年間で200万円以内、1年間で500万円以内（※大学連携案件に限る）

ウェルネス・フーズ産業支援センターについて

静岡ウェルネスフォーラム メール会員募集

登録・会費無料

助成事業や展示会・商談会・セミナー等の開催など役立つ情報をお届けします。

企業・個人を問わずどなたでも登録可能。当センターのホームページからご登録ください。



公益財団法人静岡県産業振興財団 ウェルネス・フーズ産業支援センター

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館2階

【TEL】 054-254-4513

【FAX】 054-253-0019

【E-mail】 newfoods@ric-shizuoka.or.jp

【HP】 <https://www.fsc-shizuoka.com>

※令和8年度時点の事業内容を掲載しています。

最新の情報は、当センターまでお問い合わせください。

（公財）静岡県産業振興財団

